

最後の年男 (趣味と共に生きる)



釧路市医師会
星が浦病院

すず き ひで むら
鈴木 英 軍

道医報の依頼で、以前にも年男の投稿を行った。今回の年男投稿では私が最高齢であろう。以前に親しくお付き合いいただいていた「辻久子」(ヴァイオリニスト)さんが、昨年7月に亡くなられたが、私の一回り上の寅年であった。

私自身、次の年男までの生存は・・・？

多趣味無芸の人生ではあったが、実り多い晩年でもあった。副題の如く趣味を生きがいにしているが、その一つに切手収集がある。これを生かし釧路孝仁会の20・25・30周年記念に3回「切手と版画展」を釧路で開催し、好評を博した。

一番の趣味は海外旅行である。渡航回数は、45回73カ国を数える。

75歳を過ぎると、移動が大変になり最近では船旅になってきた。

船会社もいろいろあり、私の好みは、「セレブリティ・〇〇号」(米国船会社ロイヤル・カリビアン・インターナショナル)が気に入っている。食べ物の好き嫌いの強い私でも大変美味しく頂ける。

この他は、「〇〇・プリンセス号」(2年前コロナ騒動があったダイヤモンド・プリンセス号の姉

妹船)、また世界最大級の客船「〇〇・of・The・Sea」は22万トン・クラスを3艇保有しており、この3社が気に入っている。

もちろん、カジュアルなジーパンで終える船旅もよし、気取ってタキシードとカクテルドレスを纏うのも楽しいと考えますが、好みによって船旅を選択するのが良いのでしょうか。

まず乗船前に船(スクリーン)前の記念写真撮影から始まります。これは各自自由ですが、撮影することをお勧めします。船内外でもいろいろな場面でプロの写真家が撮影しますが、写真(結構高額)は後日暇つぶしに見に行き、買うのも楽しいひと時になります。映すまでは無料ですので積極的に映すのが良いかと思います。

乗船数日後に、船長主催のシャンパンパーティーがありますし、毎夕刻には、イージーリスニングの演奏もあり、選曲は比較的高齢者向きのようです。

以上は、船により多少の差はあるがほぼ同じです。夜のショーは、マジック、漫談(これは英語なので私はパス)、ミュージカル、サーカス風など結構楽しく送ることができます。私はセミスweetでの航海で、食事は妻と二人だけですが、周囲の外国人と知り合う機会が多く楽しいものです。私の場合は折鶴を折ってあげるとクルーを含め外国人に喜ばれました。海外旅行には、千代紙を持っていき、折り鶴を折ってあげるのも一興と思います。ぜひお勧めします。

コロナ禍ではありますが「明けましておめでとうございます」



デッキ風景



ショー



ロビーコンサート



ミュージカル